

平成 30 年度第 1 回大磯町高齢者福祉計画策定等委員会 概要

1 開会

2 議題

(1) 第七期大磯町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況

- ①大磯町の人口及び高齢化率の推計
- ②要支援・要介護認定者の推移
- ③介護サービスの利用状況の推移

事務局説明

資料 1 大磯町の人口及び高齢化率の推計

資料 2 要支援・要介護認定者の推移

資料 3 介護サービスの利用状況の推移

に基づき説明

委員長

ただ今の事務局からの説明に対して何か質問のある方はいますでしょうか。

委員

資料 3 の介護予防訪問介護や介護予防通所介護等が平成 30 年度から介護予防・生活支援サービスに計画されているという理解でよろしいでしょうか。

事務局

平成 29 年度より要支援の方の訪問介護と通所介護については、介護予防・日常生活支援総合事業に移行しておりますので、第七期計画から介護予防サービスではなく、介護予防・生活支援サービスとして、計画しております。

③施策の進捗状況

④数値目標の進捗状況

事務局

資料 4 第七期大磯町高齢者福祉計画・介護保険事業計画進捗状況

資料 5 第七期大磯町高齢者福祉計画・介護保険事業計画数値目標の進捗状況
に基づき説明

委員長

ただ今の事務局からの説明に対して何か質問のある方はいますでしょうか。

委員

成年後見市町村申立て件数が、人口に対し多いように思われますが、何か理由がありますか。

事務局

平成 28 年度も 2 件で、平成 30 年度も 6 月まで 0 件ですので、平成 29 年度が特別多かったため、特段理由はございません。ただ、高齢化が進んでいますので、今後は多くなることが予想されます。

委員

健康づくりの教室などは参加者に男女の差があると思われます。現状の男女比率を今後の計画に活かしていただきたい。また、男性の参加率を上げる方策も検討していただきたいと思います。

事務局

教室によって、男女差があり、女性の参加者の割合が多いです。今回の資料では、男女別の集計は行っておりませんが、次回の資料では男女別の集計もできる範囲で掲載できようように調整します。男性の参加率も向上できるように教室の内容や開催方法も検討していきます。

委員

ポールウォーキングやヨガ教室など、前計画において課題があったものについて、見直しを行う予定はありますか。

事務局

平成 31 年度に向けて、介護予防事業については見直しを行う予定で、地域包括支援センターや町の保健師等の関係機関と調整を行っています。

⑥地域密着型サービスについて

⑦地域密着型サービスの整備状況について

事務局

資料 6 地域密着型サービスについて

資料 7 平成 30 年度定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業予定者募集要項に基づき説明

委員

地域密着型通所介護事業所の撤退があると聞いていますが、人材不足等どういった問題があるのか把握していますか。

事務局

地域密着型サービスは、基本的に住んでいる市町村の住民のみが利用できるサービスですので、町内の事業所が撤退という事態にならないように、利用者の状況等は確認していきたいと考えています。

委員

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業は、経営が成り立つ見込みでの募集をしているのですか。

事務局

第六期計画期間の平成 27 年度、平成 28 年度にも募集を行い応募が無かった経緯がありますので、サービス付高齢者向け住宅等との併設を視野に入れて募集を行いました。

委員

併設では、対象者が入居者に限定され、不公平にはならないのですか。

事務局

併設の事業所だけではなく、大磯町全体をサービスの対象とするように、応募のあった事業者には説明していきます。

委員

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の募集は、平成 28 年度にも実施したとのことだが、町民のニーズの変化はどのように捉えているのか。

事務局

平成 28 年度に行ったアンケート調査でも夜間の介護を心配される声が多くありました。今後、在宅介護や看護のサービスを確保することが必要であると考え、第七期計画でも募集を行いました。

委員

訪問看護でも良いのではないのでしょうか。定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業は好事例が少ないと聞いています。看護小規模多機能型居宅介護や小規模多機能型居宅介護の方が有効ではないのでしょうか。

事務局

第六期の期間同様に、応募がない可能性もありますので、第八期計画に向けて、看護小規模多機能型居宅介護等の募集については検討していきたいと考えています。

4 閉会